

# 笑顔が輝くまちづくり 京都の明日をデザインします

現在、日本は世界に類を見ない超高齢化・人口減少社会を迎えようとしています。

民間有識者らでつくる「日本創成会議」の公表した将来推計は、日本全国に衝撃をもたらしました。この中では2040年までに、全国の自治体の約5割が将来「消滅」の危機と発表

に、若者・女性に佳占を当てた新たな成長戦略をス

に歯止めをかけ社会の活力を取り戻すため、人口減少・専ら社会の時代には、高齢者・障がい者、子育て世代を支援し、来る地域コミュニティを再生し、安心安全なまちづくりを実現します。

今後、各地方においては高齢化社会と、人口流出に対応をしていくためにも住みやすく、魅力ある都市を構築していくことが不可欠な時代になってきました。

京都市におきましても、国と連動して、若者、女性の支援策を強化した新たな成長戦略を推進し、人口減少に歯止めをかけ、社会の活力を取り戻してまいります。

更には、地方分権を進めるとともに、その地方にあった、地方独自の政策立案をしていくことが重要です。

公明党京都市会議員団は2002年から毎年度、その時々に応じてテーマを決め、京都市に対して政策提言を行ってまいりました。

提言にあたっては現在および将来の必要となる課題に対し、十分に議論・検討し、「市民目線」にたった政策提言を行っています。

今期は2011年「京都におけるスポーツ文化の向上にむけて」、2012年「京都市の今後のエネルギー政策」、2013年「京都産業の未来の価値を生み出すワーク・ライフ・バランス」の提言を市長に対し行いました。

このリーフレットは今期3年間の提言内容をまとめたものです。公明党京都市会議員団の活動の一端をご理解頂ければ幸いです。

これからも「京都のミカタ」として市民の声を何よりも大切に、未来ある京都市の将来を創造するため、努力しつづけてまいります。

## 公明党京都市会議員団 メンバー紹介



**谷口 弘昌**  
伏見区  
まちづくり委員会  
会派役職：団長

青少年の夢と可能性を育み実現することのできる未来志向の京都市実現に取り組めます。



**日置 文章**  
北区  
経済総務委員会

観光政策を基軸に京都市の最重要課題である経済の活性化と雇用の拡大に全力で取り組みます。



**大道 義知**  
南区  
交通安全対策委員会

長寿社会の時代に向け、いっしょに高齢者・障がい者、子育て世代を支え、安心安全なまちづくりを実現します。



**井上 教子**  
下京区  
交通安全対策委員会

高年齢・障がい者、子育て世代を支援し、来る地域コミュニティを再生し、安心安全なまちづくりを実現します。



**津田 早苗**  
伏見区  
くらし環境委員会  
会派役職：政調副会長

少子高齢化社会の中で女性の視点を生かして子育て支援や高齢者対策に取り組む、安心・安全なまちづくりを実現します。



**久保 勝信**  
山科区  
まちづくり委員会

小さな声を大事にして生活の現場に接し、いちばん近くで動き、働いて参ります。



**曾我 修**  
伏見区  
交通安全対策委員会  
会派役職：副団長

人口減少・高齢化社会を迎える今、地域の様々な資源を活かし、誰もが希望を叶える京都市を創ります。



**湯浅 光彦**  
右京区  
くらし環境委員会  
会派役職：代表幹事

安心・安全、希望と笑顔にあふれる地域づくりを皆さんと共に力をあわせて取り組みます。



**吉田 孝雄**  
上京区  
経済総務委員会  
会派役職：政調副会長

高齢者や子どもたちが安心して暮らせる地域の安心・安全の取り組みに全力投球します。



**平山 賀一**  
西京区  
教育福祉委員会  
会派役職：政調会長

西京区のチカラを高め発信する観光・文化・福祉施策を、生活者目線で働く議員改革を。



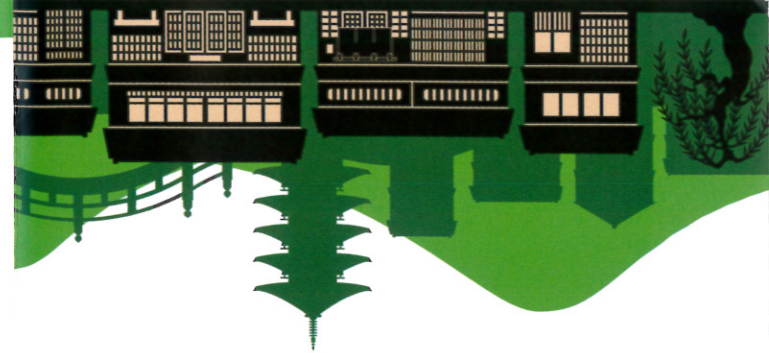
**青野 仁志**  
中京区  
教育福祉委員会  
会派役職：幹事

安心・安全で、活気と潤いある京都のまちづくりに、全力で取り組みます。



**国本 友利**  
左京区  
まちづくり委員会  
会派役職：政調事務局長

京都市民の皆さまのより身近な存在として、「現場第一」主義で新しい京都市づくり、左京区づくりに挑戦します。



# 京都のミカタ

ミカタとは、市民の見方、くらしの味方という意味を表しています

臨時増刊号

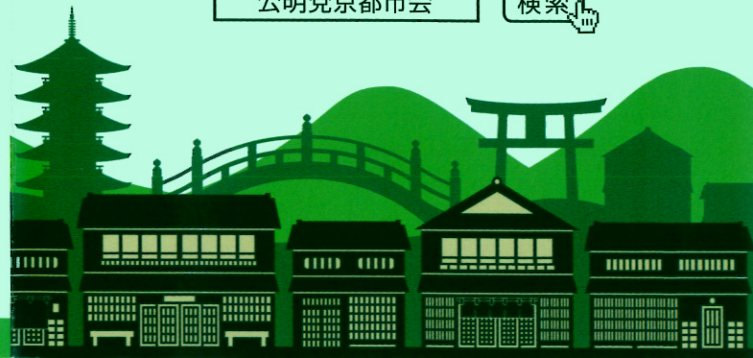
明日の京都  
イ・イ・ネ!

**政策提言**  
2011  
/  
2013

## 公明党京都市会議員団

公明党京都市会

検索



### 公明党京都市会議員団

〒604-8571 京都市中京区寺町御池上る上本能寺前町488番地  
■TEL 075 (222) 3732 ■FAX 075 (212) 3608  
■ホームページ <http://www.kid97.co.jp/komeishikai/>

2011

## 京都におけるスポーツ文化の向上に向けて

### この提言で目指したこと

平成23年3月に策定された「京都市市民スポーツ振興計画」では、「する」「みる」「支える」という3つの視点から現状と課題が分析され、10年後の京都らしい市民スポーツの将来像の実現に向けての主要施策が掲げられています。

私たちは、健康・体力、また絆づくりという市民スポーツ文化としての側面と、観光や都市活性化等、都市政策へのスポーツの活用という側面とが、「車の両輪」となって、京都の「スポーツ力」を向上させるという考え方のもと、「市民の健康・体力づくり」「コミュニティの活性化」「観光振興等経済活性化」「総合政策的」の4つの観点から、京都のスポーツ文化の振興に資する施策を提言しました。

### 次のように施策に反映されました

- 京都サンガ等プロスポーツチームによるスポーツ教室の実施
- 都市の魅力を活かしたスポーツ観光の実施  
(京都マラソン、京都ツーデーウォーク、京都一周トレイル等)
- 京都マラソンにおける市民枠の新設(定員1,000名)
- 京都マラソンにおけるまちなかルートや植物園の園路ルート等の新設
- 関西ワールドマスターズゲームズ2021に向けた取り組み
- 関西マスターズスポーツフェスティバルの実施
- スポーツ担当局長の設置

ワールドマスターズゲームズの開催によって、京都市が活気づくことを期待します。

市民の声

京都マラソンの参加枠が増え、コースも見直され盛り上がってきていると思います。

プロスポーツ選手のスポーツ教室は子どもが喜び、とても良いと思います。

2012

## 京都市の今後のエネルギー政策

### この提言で目指したこと

京都市は、京都議定書誕生の地であり、環境モデル都市として、低炭素社会の実現に向け、市民とともにこれまで取り組んできました。また、再生可能エネルギー導入に向けた様々な取組がなされているとともに、近年は新たな展開として、「スマートシティ京都研究会」が立ち上がり、京都市のスマートシティ化を民間主体で進めようとする取組も始まっています。

現在、行政主導で進められている京都市のエネルギー政策を「市民目線」で展開していくために、①文化を切り口とした全市的展開、②地域特性を活かした地域別展開、③エコ学区における地域コミュニティ単位の展開といった三方向からの取組を推進する施策を提言しました。

### 次のように施策に反映されました

- 「京都市エネルギー政策推進のための戦略」の策定
- 「京都市市民協働発電制度」による発電所の稼働
- 自立分散型エネルギー利用設備設置助成制度の創設
- 「京・安心すまいセンター」にワンストップ窓口の開設
- エコ学区における省エネ診断やエコに関する学習会等の開催
- エコ学区サポートセンターの設定、専門家集団  
(大学やNPOリーダー)による支援
- 「京都市グリーン産業振興ビジョン」の策定
- 「京都市バイオマス産業都市構想」の策定に着手
- 次世代環境配慮型住宅「エコリノベーション・京町家」の開設
- BEMS普及コンソーシアム京都」の設立
- 京都市森林バイオマスエネルギー活用専門家会議や京都市木質バイオマス供給者会議の設置

京町屋の新たな活用に期待します。

市民の声

自然エネルギーを活かし、環境にやさしい京都市になることを期待します。

エネルギー政策を地域ごとに考える方法は非常に良いと思います。

2013

## 京都産業の未来の価値を生み出すワーク・ライフ・バランス

### この提言で目指したこと

我が国では、人口減少社会の到来や少子化の進展を踏まえ、次世代の労働力を確保するため、仕事と育児の両立や多様な働き方の提供といった意味から、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)に向けた取り組みが進められており、京都市でも、京都府と連携してオール京都体制で取り組みを進めています。

この提言では、産業構造が製造業中心から、サービス業中心へと変化するなか、新たな潮流として、未来の企業価値の創出に向けた人材獲得・人材育成に資するワーク・ライフ・バランスの推進に視点をおいた提言を行いました。

### 次のように施策に反映されました

- 真のワーク・ライフ・バランス推進企業支援補助金の活用
- 京都CSR推進協議会と連携した企業価値を高める取組の紹介
- 海外を含めた海外系企業にターゲットを絞った戦略的企業誘致の推進(オフィス機能の分散)
- ワーク・ライフ・バランスの視点を取り入れた魅力的なビジネス環境を創出する取組み
- 京都企業と連携した次代の京都を担う人材の育成
- オール京都で進めている「ワーク・ライフ・バランス」施策の大学へのアピール

ワーク・ライフ・バランスを推進することが、企業の価値を高め、社会であたり前の文化になることが大事だと思います

市民の声

業内保育所の設置により、安心して仕事も子育てもできると思います。

介護する側もされる側も負担のない生活を送れることを期待します。